

きらわれている子の絵をみる

佐藤 南子

〔その子の概観〕

六才女児、両親と姉（小学校五年）。身体は小さく、みそっ歯で、一見なかなかかわいらしい子である。が、いつも遊びの仲間に入れてもらえず、ひとりである。人を見れば必ず声をかける人なつこい子なのに、なぜきられるのか不思議に思っていた。が、数か月にわたるその子との交流により、ある程度、原因が理解出来た。その子——〇子とする——がやって来るのはきまって私ひとりの時である。庭先からそっと入ってくる。「オネエチャンヒトリナノ？」ガラス戸を少し開けて言う。小さな声である。「オ姉チャン何シテイルノ」「××し

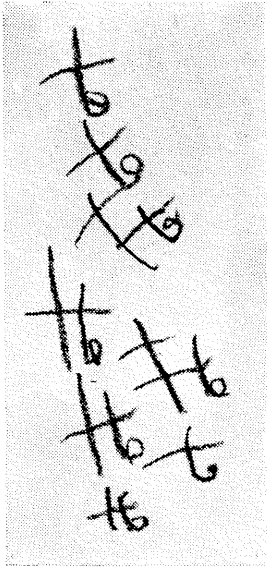
てるのよ」「マダマダ終ラナイノ？」「まだ」そんな会話が続けている間、彼女は縁先に腹ばいになり、いろいろな体を動かしながら私を見上げる。「〇子オ靴脱イデ上リタイナ」私が黙っていると何度でも繰り返している。少々うるさいので「終るまで上がって待ってらっしゃい」というと、サッと上り込む。そしてキョロキョロして部屋中の物を持ち出し「〇子ノオ家ニナイケド今度ババニ買ッテモラウノ」などと言う。それにあきると「マダオヤツ食ベテナイワ」「ママ十円クレナイノ」「甘いオ菓子大好き」などと話しかける。時どき気がついたように「ホカノオ姉チャンマダ帰ッ

テコナイ？ 帰ッテクルトイヤダナ」と姉たちのことを気にする。こんなふうには始終何かを気にして落ち着かない。夕方よく道端の暗がりですぐ泣いて泣いていることがある。聞いてみると必ず「叱ラレク」と言う。声も出さずシクシク泣いている。母親が上の子を偏愛し、この子にはちょっとのことでビシヤビシヤ折檻するという。かん高い声の勝負そうな人である。私は欲求不満（フラストレーション）がこの子を大きく左右していると考えた。姉ばかりかわいがり、自分のことをすぐ折檻する母親、子どもへの心は不満で一ぱいであるが卒直に口に出すことは出来ない。そして人を上目使いに、欲しい物を遠まわしにナゾかけるような子どもらしくないふるまいに出るのではなからうか。よく遊びに来たが、大きな口を開けてキヤツキヤツと笑うようなことは一度もなかった。以上が私の見た女の子の概観である。この子に機会をみて、二度絵を描いてももらったので、実例によって考察してみた。

(一) 三十三年九月九日

(午前十一時〜十一時三十分)

私は画用紙を十枚余り用意した。それを見て「O子全部コレニカイテイイノ」と何度も尋ねた。絵を描くことがうれしくてたまらないふうであった。クレヨン箱から赤を取り出しすぐ(1)を描いた。それから二十分余り十枚の画用紙に全部同じようなものを描き続けた。色彩はほとんど赤と茶、一枚黒があつた。描きながらキョロキョロし、ラジオの口まねをしたり、二、三枚描くと次は「アイスクリームとチョコレートとミルク飲み人形とオセンベイと中華ソバと……」などとあらゆる食物の名を口ばし



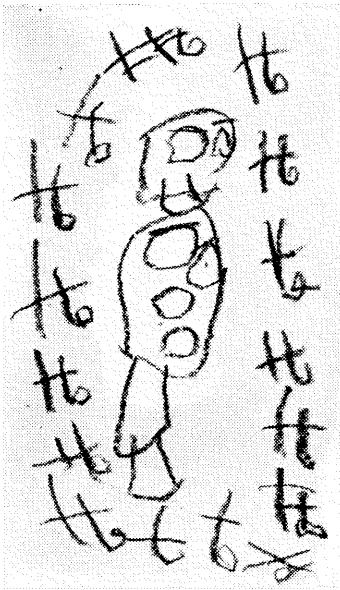
(1)

りながらわけのわからない絵を描いている。しばらくして(2)を描いた。「O子ノ顔」といった。

(二) 三十四年三月七日

(午前十時二十分〜十一時)

今度は描こうとしているところへ、隣りの四才の男の子が来た。O子は私の耳へ口をよせ「トンチャン上ラセチャイヤ」と言つたが、私は一しよに描いてもらった。トンチャンはまだよく口のまわらないかわい子で両親とも朗らかで二年生のお兄ちゃんとトンチャン兄弟を残して銀座へ出かけたりする。二人は後を追いもしないで仲よ

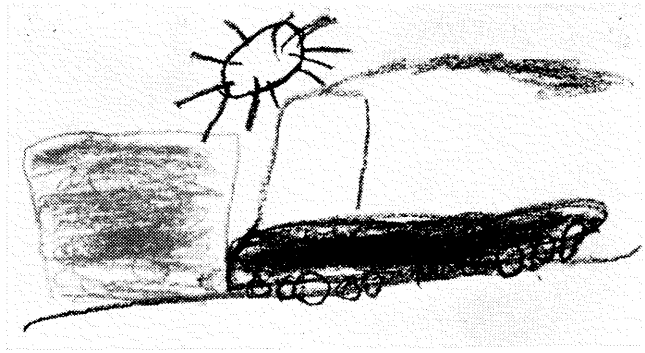


(2) O子の顔

く遊んでいる。そんな自由な明かるい家庭の子である。二人が描いた絵とその時の会話の一部をもとに考察してみた。(3)(4)画用紙を半分ずつ分け与えたとトンチャンは直ぐ描き出す。O子ちゃんは画用紙をめくり、いつかのように「コレ全部O子ガ描イテイイノ」ときく。

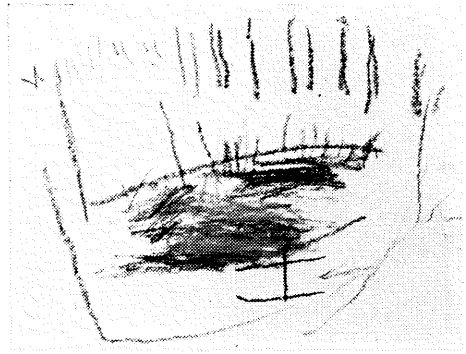
(以下会話はTとO子とする)

T「コレ特急コダマ号ダヨ」O子「彼の絵をのぞきこみ」トンチャン上手ネ、O子ニ描イテ」と言い、しばらく見てから、赤を取り出して描く。出来上つてまたトンチャンの絵を見て「コレオ日様」と言った。ト



(3) 汽車=特急こだま号

ンチャンの絵にもお日様があった。
 四十分余りにトンチャンが十枚、○子
 ちゃんは九枚（いつもトンチャンの出来上り
 を見てから描いている内一枚ずれた）描い
 て最後の頃は二人とも疲れてしまい単なる



(4) お日さま

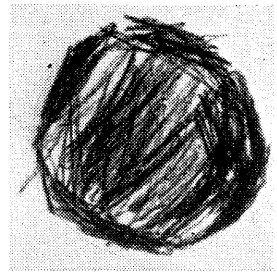
手の運動のような絵を描いて、終わった。
 こういう過程を経て描かれた絵を見て、
 私は欲求不満が明確に表われている絵だ
 と思った。トンチャンとの比較においても
 かなりはつきりする。他の子のをまねた
 り、同じ繰り返しを続けたり、描くもの
 の意図がはつきりしないということは創意の
 乏しさの表われであるという。

○子の絵から感じたことをまとめてみる

と、

(1) 抑圧と欲求不満——「××が欲シイ」
 とか「テレビヲ買ッタ」とかしばしばうそ
 になって出る。(2) 劣等感——描き終って何
 かの拍子に、「○子ダッテトンチャンミタ
 イニ幼稚園へ行ケバ上手ヨ」といった。最
 初の頃は私に幼稚園へ行っているとウソを
 ついていたのだが。……近所の子がほとん
 ど幼稚園へ行くのに自分には行けない——そ
 んな劣等感が、会話とか行動を左右し、絵
 にも表われてきているのではないだろう
 か。

(日光電気精銅所幼稚園)



(5) 10円